

# ちむ美らさ

第54号  
 発行：北部農林水産振興センター  
 農業改良普及課  
 沖縄県名護市大南1-13-11  
 電話：0980-52-2752  
 FAX：0980-51-1013

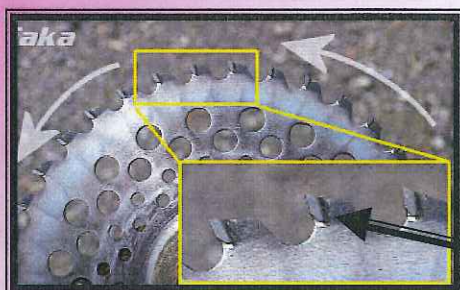
## 刈払機の安全作業について（基本）

刈払機は入手が容易で農業以外にも様々な場面で使用されますが危険性も高いので安全な使用法を厳守しましょう！



図 手、目、脚等を保護具で守りましょう。

作業前に草を刈る場所に空き缶などの危険物が無いか確認して取り除きます。作業時は目、手、足などに保護具をつけて石などの跳ね返り、刈刃から身を守ります。

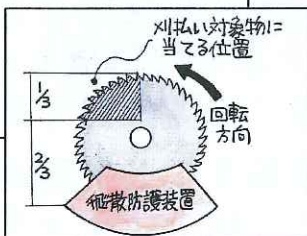


チップ

刈払機の刃は使用前にネジの緩み、チップの外れなどを確認します。緩んでいると振動が激しくなり、チップが外れると怪我をする恐れがあります。



刈刃は常に膝より低い位置で作業をし刈り方は右から左へ刈ります。



刃の左前側で刈ります。刃の右側に硬い物が触れると跳ね返り（キックバック）が発生しやすく危険です。



振動障害対策として1日の刈払機の作業時間は2時間以内としましょう。一回の作業時間は30分以内とし、5分以上の休憩を取ってください。

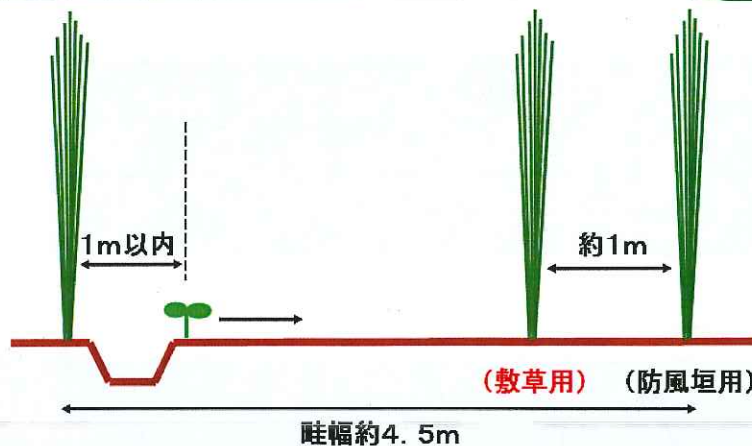


# ソルゴー播種は9月上旬に！

カボチャは風に弱く、風速7～8m/sで被害が出始めます。本県の冬季はこれ以上の風速が頻繁にあるため季節風対策が不可欠です。事前にソルゴーを播いてしっかりと季節風対策を行い、収量アップを目指しましょう。



防風垣で十分な防風効果の得られる距離は、防風垣からその高さの二乗の距離までとされています(例:高さ2mの場合、 $2^2=4m$ )。そのため、きちんと畦ごとにソルゴーを播くようにしましょう。また、ソルゴーの幅は約30cmが目安です。



最も風の被害を受けやすい苗の段階から防風効果を得るためには、ソルゴーを遅くとも**9月中旬**までに播種し、苗の定植時までにはソルゴーを生長させておく必要があります。

また、ソルゴーを条間約1mの2条植えにして敷草として用いる方法もあります。敷草用ソルゴーはカボチャの蔓が這い始めた時期を目安に刈り取りを行いましょう。防風垣用ソルゴーは高さ1.5m程度にとどめるようにし、穂を刈り取って先端を整理しましょう。



## マンゴーの収穫後の管理ポイント

### 1. 樹勢を判断しよう。

マンゴーの葉の寿命は長くて3年といわれています。樹勢が維持できている樹であれば、おとしの葉がまだ残っているでしょう。

しかし、収穫後の樹はとても疲れています。それなのに新しい新芽を出そうとするので、古い葉はどんどん落葉していきます。この落葉の程度で樹勢を判断することができます。

#### (1) 樹勢が維持されている樹(右写真)

収穫後、あるいは収穫中の花軸の基部から新芽が順調に出てきており、旧葉が残っている樹



#### (2) 樹勢が低下している樹

- ①旧葉がほとんど残っていない樹
- ②新芽がなかなか出てこない樹

どちらの樹でも来年花を咲かせるためには、この9月～11月の期間で充実した結果母枝を育成できるかが勝負です。以下の3つのポイントをおさえて管理しましょう

#### 【充実した枝づくりに重要となる管理作業】

- (1) 収穫が8割終わったら、樹の状態、年数を考慮して早めに施肥！たっぷりかん水！
- (2) 収穫後のせん定の基本は弱せん定！
  - ①樹勢が強い樹や枝のせん定方法
  - ②樹勢が弱い樹や枝のせん定方法



- (3) 新芽は、強い枝は2本！弱い枝は1本に整理しよう！

#### 【病虫害防除】

結果母枝を充実させるには、収穫後の新芽を健全に育成する必要があります。新芽を加害するスリップス、タマバエ、キドクガ等に注意し早めの防除を心がけましょう。

また、剪定クズなどは炭そ病や軸腐病、害虫のすみかになりますので、ハウス外に持ち出し、ビニール等に入れ処分しましょう。





## ネズミ被害にご用心！

・イモの肥大やさとうきびの生育と糖蓄積に伴い、ネズミ(野鼠・ヤソ)の被害が増加します。

・台風による倒伏で被害が助長されるので、注意しましょう。

・農作物への被害がでる前に、殺鼠剤の散布など被害防止対策をとりましょう。農作物の味を覚えると殺鼠剤の食いつきが悪くなり、被害防止効果が低下します。

・殺鼠剤(ヤソジオン、クマリンなど)を使用する場合は、使用方法や注意をよく読み使用しましょう。

・人の臭いがつくと食いつきが悪くなるので、手袋をするなどして散布しましょう。

・カラスに殺鼠剤を持ち去られることがあります。現地では塩ビパイプやトイレトーパーの芯に入れて散布するなどの工夫をしています。



画像：(社)沖縄県糖業振興協会ほか「病害虫の適期防除で健全なさとうきびを生産しよう」より



## カンショの台風対策と灌水について

・植え付け後、台風の襲来により、苗が飛ばされたり、葉がちぎれる、根が回されるなどの被害を受けることがあります。

・十分に繁茂する(植え付け1月程度)まではネットでじか掛けし、台風対策を行いましょ。また、台風通過後は、すみやかにネットを外しましょ。

・風台風の際は塩害が発生しますので、スプリンクラーなどで灌水し、塩分を洗い流しましょ。

・植え付け後～生育中期の灌水は大切です。乾燥状態は生育が停滞するので、イモの肥大も悪くなります。灌水によりイモの増収を図りましょ。

・植え付け時、株元に灌水しましょ。

・植え付け1ヶ月程度は週1回以上灌水しましょ。



U字鉄筋などでネットを固定する